

西那須野ロータリークラブ

子どもの貧困対策支援

NPOに食材費など寄付

【那須塩原】西那須野ロータリークラブ（会長）が厳しい家庭環境の子どもたちを支えるNPO



食材などの購入費として森田理事長に20万円を贈る角橋会長（右）

法人「キッズシエルター」（森田野百合理事長）支援に力を入れている。昨年は同法人が運営する子どもの居場所開設を援助。今年も食材費などとして20万円を贈った。角橋会長（61）は「貧困生活を送る身近な子どもたちに継続して手を差し伸べて

いきたい」と話す。

地域貢献に取り組み同クラブは昨年7月から「子どもの夢サポート」と称する事業を始めた。その第1弾として、同法人の自主事業で食事を伴う子どもの居場所「こども食堂」の開設を支援した。

森田理事長（56）によると、同食堂を利用しているのは市内の2、3歳の子どもたち。さまざまな理由で訪れ、ほとんどが十分な栄養を取れていない。

同食堂は給食がない夏、秋、冬休み中は週2回、普段は毎週土曜に「開店」。善意で寄せられた食材などを利用し、スタンプ手作りの食事を子どもたちに無償で振る舞ってきた。今年までに延べ約130人が利用している。

この取り組みを継続して支援していくと、同クラブは10日、市内で開かれた例会でチャリティーオークション益金の一部として20

万円を同法人に寄付した。森田理事長はこの日、「将来パティシエになつておなかいっぱいケーキを食べたい」と夢を語る子どもの声

も紹介。「皆さんの善意のおかげで、厳しい環境にいる子どもの支援を続けられる」と話していた。

（青柳修）

下野新聞 県北版

2017年（平成29年）1月13日

ロータリー財団100周年記念事業
こどもの夢・食事を伴うこどもの居場所
チャリティーオークション売上金寄付